

伊豆諸島北部と三宅島では、**今日昼過ぎにかけて大しけ**となりますので、**高波に警戒し、強風に注意して下さい。**東京地方と八丈島でも**強風、高波**に、伊豆諸島では**落雷や突風、急な強い雨**にも注意が必要です。

前線が東シナ海から東北地方にのびており、前線上の関東地方には低気圧があつて東に進んでいます。

今日は、前線が日本の南海上に南下する見込みです。

このため、関東甲信地方は曇りで、昼過ぎにかけて雨が降る所があるでしょう。また、沿岸部や海上では南西の風が非常に強く吹く所がある見込みです。甲信地方は雨のち晴れでしょう。

明日は、高気圧が黄海に移動し本州をおおいますが、日中に上空の気圧の谷が通過見込みです。

このため、関東地方北部や甲信地方では晴れ時々曇り、関東地方南部では曇り時々晴れでしょう。長野県北部や群馬県北部では昼頃にはわか雪となる所がある見込みです。

【 土日のお天気 】

	03日 (Sat)		04日 (Sun)	
	天気	最高/最低	天気	最高/最低
札幌	○/*	5/- 1	○//◎	7/- 1
秋田	◎/*	7/ 3	◎//○	9/ 2
仙台	○//◎	9/ 2	○//◎	8/ 1
宇都宮	○//◎	13/ 2	○//◎	12/ 0
東京	◎→○	15/ 7	○//◎	14/ 4
横浜	◎→○	15/ 6	○//◎	14/ 5
長野	○//◎	7/- 3	○//◎	15/- 3
静岡	○//◎	17/ 9	○//◎	15/ 6
名古屋	○	12/ 4	○//◎	15/ 3
新潟	◎//*	8/ 3	○//◎	10/ 2
金沢	○/●	9/ 3	○	12/ 2
大阪	○	14/ 4	○	16/ 4
神戸	○	14/ 5	○	15/ 4
広島	○	13/ 5	○//◎	15/ 3
松江	○	11/ 4	○//◎	15/ 1
高松	○	13/ 5	○→◎	14/ 5
高知	○	16/ 5	○→◎	16/ 6
福岡	○	13/ 7	◎	18/ 6
鹿児島	○	18/ 8	○→◎	18/ 9
那覇	◎/●	21/ 16	◎//●	24/ 18

(○:晴れ, ◎:くもり, ●:雨, \*:雪→:のち, //:時々, /:一時)

## 【 お天気モード 】

「 [われは海の子天気の子](#) 」 2010年3月30日の日記より編集

昨日に続き今日も、日本海地方より吉報がありました。  
今年の恵方は東南で、台湾方面がそうであると想っています。  
[「待てば海路の日和あり」](#)と申しますが、節目の今年は海にご縁を感じています。

これは、正月明けより進めていたお話が進展したもの。  
かつては、日本海が我が国の交易の中心でした。  
いつも間にか、太平洋側にばかり日が当たり、右肩上がりの経済効率至上主義のバブルまでは順調でしたが、魂を置き忘れたままでは、持続性がないことを感じます。

10月のことを陰暦で、[「神無月」](#)と書き、[「かんなづき」](#)または[「かみなづき」](#)と読みます。  
このことは、日本国中の全ての神々が、陰暦の10月に、出雲大社に集まってくることから来ています。  
地元出雲地方では、逆に、全ての神々が集まってくる場所なので、[「神有月」](#)と称します。このことから、日本人の精神的な支柱は、日本海の出雲地方にあったことが窺われます。[「たまげた」](#)という言葉のいわれは、[「魂消えた」](#)からきているとされています。魂を忘れては、今お茶の間で大人気の[「龍馬伝」](#)で人気爆発の龍馬の意思が失われてしまい苦笑していることでしょうか。単なる人気者に終わってしまいます。

日本列島の位置と地勢上の意味からも、日本海を抜きにしては、語れません。  
日本海をはさんで、大国ロシア。  
古代より付き合いの難しい朝鮮半島の両国。  
経済発展の様相ばかりの報道が目につくものの、やや課題も露呈してきた感のある昇竜中国。

さて、  
はるかかなたの太平洋の対岸国家にばかり気も目もいっていると、思わぬ落とし穴が待っている。  
歴史的にも文化的にも、そして、時折抗争も重ねてきた日本海の対岸地域とのバランスが重要。

日本列島の気象も海象も複雑で、日本の天気のはまりは多くの場合、日本海にある。  
学生時代には、小樽と舞鶴を結ぶフェリーで、何度か航行した。  
船乗り時代には、日本海の港とナホトカやアムール河の港を何度も何度も航海した。  
想えば、日本海は多感な時代に育んでくれた母なる海。

考えてみれば、WMOによる、世界気象機関条約が発効して60年の節目。  
人間でいえば、還暦に当たる。  
私は、今年の1月に還暦を迎えた。

今年は、色んな意味で巡り合わせを感じる。  
[われは海の子天気の子](#)  
最近、つくづくそう思う。

## 【 e 健康生活 】

### 「 肥満の疑いで清涼飲料に課税へ（米国） 」 2010年3月22日の日記より

#### 【 肥満の元凶は甘いドリンク？ 】

ニューヨーク州など全米各地で、通称「ソーダ税」と呼ばれる、砂糖を含む飲料水への新税導入の動きが強まり、議論になっている。

#### 【 背景 】

ソーダー税論議の背景には米国での肥満率の高さがある。

1. 経済協力開発機構（OECD）の調べでは、2007年の米国の「肥満人口」の割合は、日本の約10倍に当たる34.3%。
2. 医療費も増加の一途をたどっており、一部をソーダ税で賄おうとの考えが大都市部を中心に広まりつつある。
3. 肥満が原因の疾病の治療に毎年76億ドル（約6900億円）を支出しているニューヨーク州では、パターソン知事が8日に、「誰かが負担しなければならない」と、導入を示唆した。

#### 【 実現の影響 】

1. 実現すれば、コーラやソーダなど清涼飲料のほとんどが課税の対象になるため、米コカ・コーラなど飲料メーカーが異議を唱えている。
2. 一方、自治体は少しでも、税収を増やそうと一步も引かない構え。

#### 【 感想 】

清涼飲料水の缶入り一個には、角砂糖の塊が2個入っているとされています。いわば、べとべとの砂糖水に少量の香料やソーダで加工味付けしているのが実態。砂糖は甘味で思考を麻痺させかつ嗜好性が強い。端的に言えば、缶ジュースが病み付きになりやすいということ。

これで、肥満にならない訳がない。メーカーは消費者の健康など考えていなく税金のことに頭が回っていると実態が暴露された。日本人の好きな缶コーヒーも全く同じだ。清涼飲料を飲み続けた結果、肥満や糖尿病になったとカンカンになっても遅い。

要は、自己管理の問題。清涼飲料が売れなくて、メーカーの売り上げが下がったって何にも影響はない。あるとすれば、消費者の健康を損ねることに目をつぶっていた関係者が真っ青になるだけの話だ。

人々の健康のためにも、タバコと清涼飲料は、ガンガン増税することが、結局は、医療費の増加や病人を作らないか少なく抑えることにつながるから、本当に生きたお金が世の中に回ることになる。

視点は、人々の本当の健康に役立つ食品であるかということ判断すればすぐに分かること。そこに、企業のエゴや従業員の黙認は許されない。「世の中あまくないのだ」ということのお話。

健康的ソリューションのご案内 )

健康な体の基本は水素豊富水 「 新元祖活性水素くん 」

【 WISからのお知らせ 】

\*\*\*\*\* 天気で元気! \*\*\*\*\*

世界初 「ソリューションする気象会社」

防災メールなら 地震番

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

トータル節水システム ( 経費節減効果NO1 )

[http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru\\_shouhin.htm#echoj](http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj)

たのしい競馬に 「馬場コンディション情報」

<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ 「ミスター防災」

<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 「直売所NOW」

<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 「ウェザー&ビューティ」

<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>

\*\*\*\*\*